

<天からのしるし>

マルコ 8 : 11 ~ 21

*ジョイキッズ・キャンプテーマ 「会い・愛・I」

神さまに会い、神様に愛されている自分に出会う。

中心聖句：父がわたしを愛されたように、わたしもあなたがたを愛しました。わたしの愛の中に
とどまりなさい。 ヨハネ 15 : 9

著名人を多く輩出する、ユダヤ人の子どもの教育方針
三つの基本

- (1) その子の特性を見極める
- (2) その特性を伸ばすための長期計画を建てる
- (3) その子のペースに合わせて進む



「若者をその行く道にふさわしく育てよ。」 箴言 22 : 6

パリサイ人たちがやって来て、イエスに議論をしかけ、天からのしるしを求めた。

イエスをためそうとしたのである。 【11節】

あなたの言うところの救いが本物かどうか、私たちが決めるから、審査するから
納得いく『しるし』を見せて欲しい！

◆イエスキリストの救いは、説明してわかるものではなく、信じて受け取るもの。

「彼は他人を救ったが、自分は救えない。イスラエルの王だ。今、十字架から降りてもらおうか。
そうしたら、われわれは信じるから。 マタイ 27 : 42

◆あなたが神だというしるしをみせてほしい。しるしを見たら、信じてもよい。
このような心の態度、こだわりが、心の目を塞いだ。

「理解する心」を持つ人には、普通の出来事の中で、神からの十分なしるしを
見ることが出来る。

神の、目に見えない本性、すなわち神の永遠の力と神性は、世界の創造された時からこのかた
被造物によって知られ、はっきりと認められるのであって、彼らに弁解の余地はないのです。

ローマ 1 : 20

創造主なる神を信じて、世界を見ていた科学者たちは偉大な発見をした。

コペルニクス 「神が創られた天体、宇宙はもっと美しいはずだ」
観測を重ねて、地動説を発見した。

- ◆自分流の見方で神を見る人は、神のみわざを見失う。
イエスさまは、「しるし」は信仰の妨げになる。それを警戒した。

そのとき、イエスは彼らに命じて言われた。「パリサイ人のパン種とヘロデのパン種とに
十分気をつけなさい。【15節】

イエスさま：パリサイ人、ヘロデの間違った見方は、全体に影響力を及ぼしかねない。
パン種の発酵力のように。気を付けなさい。

弟子達：余ったパンをうっかり忘れてきた！責められたと勝手に受け取った

- ◆自分が何か責められる思いがある時、ちょっとした人の言葉が、自分を責めていると受け止めてしまうことがある。自分の思いの中で人の話を聞くのではなく、相手が何を言おうとしているのか、話し手の文脈に思いを向ける。

なぜ、同じような奇跡が繰り返されたのか？

大事なことを教えるため / 凝り固まった固定観念を壊して新しくするため
それは・・・

自分達に、必要を満たす手立てが全く見当たらなくても、それらを全く考えもつかない方法で、満たすことのできる神が共にいるということ。

- ◆イエスさまが共におられるというのは、何かが足りないようでありながら、振り返ってみると必要が満たされていたという世界。